

带状疱疹予防接種のお知らせ

令和7年4月から带状疱疹予防接種は定期接種（B類）となります。
これに伴い、白石町带状疱疹予防接種費用助成の対象者などが変わり**令和7年度で終了します。**
接種を検討されている人は下記を参考にしてください。

※下記概要は令和7年1月末時点の情報であり今後変更となる可能性があります

令和6年度

任意接種

●白石町带状疱疹予防接種費用助成

【対象者】接種日の年齢が50歳以上の人

【助成額】生ワクチン 5,000円×1回
不活化ワクチン 5,000円×2回

※接種費用から5,000円差し引いた金額を医療機関に支払ってください。

【申請期限】令和7年3月31日まで

【申請場所】保健福祉課健康づくり係窓口

【接種期限】令和8年3月31日まで

※不活化ワクチン2回目は、1回目接種から6か月を超えた場合は、期限内でも助成対象外となります。

令和7年度からの予防接種

定期接種

- 65歳の人
- 60歳以上65歳未満でヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害を有する人

【今後5年間の経過措置】

令和7年度は下記生年月日に該当する人

65歳 (S35.4.2生～S36.4.1生)
70歳 (S30.4.2生～S31.4.1生)
75歳 (S25.4.2生～S26.4.1生)
80歳 (S20.4.2生～S21.4.1生)
85歳 (S15.4.2生～S16.4.1生)
90歳 (S10.4.2生～S11.4.1生)
95歳 (S5.4.2生～S5.4.1生)
100歳 (T14.4.2～T15.4.1生)
100歳以上 (令和7年度限り)

※毎年度、生年月日は変わります

対象者



任意接種

●白石町带状疱疹予防接種費用助成

- 接種日の年齢が**50歳～64歳**の人で、令和7年度定期接種の対象ではない人
- 令和6年度に申請をしたが接種が済んでいない人で、令和7年度定期接種の対象ではない人

※令和7年度定期接種の対象の人は白石町带状疱疹予防接種費用助成の対象となりません

自己負担額

生ワクチン(1回接種)
2,500円程度×1回

不活化ワクチン(2回接種)
6,500円程度×2回

生ワクチン(1回接種)
医療機関提示額※から5,000円の助成を差し引いた額×1回
※約6,000～8,000円

不活化ワクチン(2回接種)
医療機関提示額※から5,000円の助成を差し引いた額×2回
※約20,000円～30,000円

申請期限

申請は不要です

令和7年度内に上記の生年月日に該当する人には個別通知を4月以降に送付予定です。医療機関に予約し、通知書をもって接種してください

対象者②の人は保健福祉課までお申し出下さい

希望する人は**令和7年9月末まで**に保健福祉課窓口にて申請して下さい

接種期限

令和8年3月31日まで

※不活化ワクチンの場合、標準的に1回目の接種から2か月の間隔が必要です
年度内に接種ができるようご注意ください

令和8年3月31日まで

※不活化ワクチンの場合、2回目の接種が1回目の接種から6か月を超えた場合、助成対象外となります

場所

県内の実施医療機関
※詳細は令和7年4月決定

町内の実施医療機関



定期接種の対象の人で、**過去に自費で接種をしたことがある人や町の助成制度を利用した人は基本的に対象とはなりません。**再接種に関しては、臨床試験での有効性・安全性が確立していないため、必要性を十分に考慮し、医師と相談のうえ接種の可否を検討して下さい。

令和7年度定期接種の対象となる人で、現在、白石町の助成申請の手続きを行い、まだ接種をしていない人は、定期接種の通知確認後、定期接種として接種して下さい。（令和7年4月1日以降、町の助成は利用できません）

裏面もご確認ください

【带状疱疹ワクチンについて】

带状疱疹は、多くの方が子どものときに感染する水ぼうそうのウイルスが原因で起こる疾患です。水ぼうそうが治った後も、ウイルスが体の中で長期間潜伏し、加齢や疲労、ストレス等の要因によって、免疫力が低下した時に、体内に潜伏するウイルスが再活性化することで発症します。50歳代から発症することが多く、80歳までに約3人に1人が発症するといわれています。症状は、神経に沿って皮膚の痛みやかゆみが生じ、水ぶくれを伴う赤い発疹が現れます。皮膚症状が治った後も3か月以上痛みが残る带状疱疹後神経痛に移行する可能性もあります。

【ワクチンの種類】

ワクチンの種類	生ワクチン (乾燥弱毒生水痘ワクチン)	不活化ワクチン (乾燥組換え带状疱疹ワクチン)
接種方法	皮下注射	筋肉注射
接種回数	1回	2回 1回目の接種から2か月以上の間隔を置く 医師が医学的知見に基づき必要と認めるものについては1か月以上の間隔を置く
主な副反応 (添付文書より)	★頻度 10%以上の副反応 発赤(44.0%) かゆみ(27.4%) 熱感(18.5%) 腫脹(17.0%) 疼痛(14.7%) 硬結(13.5%) ★重大な副反応(いずれも頻度不明) アナフィラキシー、無菌性髄膜炎、 血小板減少性紫斑病	★頻度 10%以上の副反応 疼痛(79.1%) 発赤(37.4%) 筋肉痛(36.9%) 疲労(34.6%) 頭痛(28.3%) 腫脹(24.2%) 悪寒(21.4%) 発熱(16.7%) 胃腸症状(12.0%) ★重大な副反応(いずれも頻度不明) ショック、アナフィラキシー
発症予防効果	50～59歳：69.8%※ 60～69歳：64% 70～79歳：41% 80歳以上：18% 【引用文献】 ZOSTAVAXによる試験結果 (※50歳代は ZEST 試験)	50～59歳：96.6% 60～69歳：97.4% 70歳以上：97.9% 【引用文献】 ZOSTER-006 試験
持続性	約5年間 【引用文献】 ZOSTAVAXによる試験結果	9.6年後まで確認(今後15年目まで確認予定) 【引用文献】 ZOSTER-049 試験
注意点	妊娠中の人、明らかに免疫機能に異常のある疾患を有する人や、免疫抑制をきたす治療を受けている人は接種できません。	

【万が一健康被害を生じた場合について】

定期接種	白石町带状疱疹予防接種費用助成
予防接種法に基づく健康被害救済制度があります。	独立行政法人医薬品医療機器総合機構法に基づく医薬品副作用被害救済制度があります。